

夏～秋の花々咲く葛城山(959.7m)

8月21日朝起きたら晴れていた。卵ご飯をかきこみ、晴雨両備えをしてバイクで御所市の登山口に。

7:45 登山開始。まだ閉店中の売店やロープウェイ駅を横目に、イノシシ柵を開けて檜羅の滝コースを進む。早くも下ってきた若者に「道が濡れているのでご注意を」と助言される。

ツクツクボウシに夏～秋の花々



↑フシグロセンノウ(ナデシコ科)
花の末期で形が崩れている



↑ツリフネソウ(ツリフネソウ科)



早朝なので半開きのゲンショウコ(ピンク)、アキノタムラソウなどを

見ながら、階段を昇る。 ↑ツリガネニンジン(釣鐘人參・キキョウ科)

檜羅(くじら)の滝は水量を増しており、河原には数は少ないもののツリフネソウが花を咲かせており、フシグロセンノウまでが咲き残っていた。ツクツクボウシの鳴声に迎えられ、またその合唱に送られつつ登山路を登る。

救助待つ若い女性に出逢う

8:30 御所消防署が設置している「目標位置」4-1で休憩。6-1を過ぎた地点で、空に向けてヘッドランプを点滅させている若い女性に出逢う。蜂に刺されて救助を呼んでいるという。元気そうだ。「GPSで位置は知らせている」し、「ヘリが来るから、他人は近づけないでとされている」というので、励まして先に進む。

救助隊員の皆さん、本当にご苦労様

目標位置 7-1を過ぎたあたりで、上から制服姿の若い救急隊員10名余りが急ぎ足で下りてきた。女性が居た場所と位置を伝えると、それを全員で確認して駆け下りて行った。本当にご苦労様。まもなくヘリコプターが旋回する音が聞こえてきた。

この日も花の回廊は健在

登山道わきに花が現れ始めた。ヤマジノホトトギスが、そしてクサアジサイが柔らかなピンクの花をたくさん咲かせている。花の種類は違っているが、「花の回廊」は今回も健在だ。

9:45 ロープウェイ山頂駅からの道路に出て休憩・食事をとる。

←ヤマジノホトトギス(ユリ科)



↑ゲンショウコ
↓クサアジサイ



トイレを済ませて 10:15 山頂着。大阪側の展望がひらけており、風が涼しい。後から登ってきた人の話によると、くだんの女性はへりに吊り上げられて無事救助されたらしい。

10:25 ハンググライダーの離陸場所に。



関係者らの努力によって、刈り込まれた斜面に花々が咲き競っている。オミナエシ、ワレモコウ、ナデシコ、コオニユリ、タムラソウ、ハギ、ツリガネニンジン等等。葛城山の秋を代表する他の花・アキギリ

↑コオニユリ やアキチョウジはまだ咲いてなかった。高原と自然研究路を巡り往路をたどって 13:40 登山口帰着。



↑オミナエシ(オミナエシ科)



↑タムラソウ(キク科タムラソウ属)で吸蜜するキアゲハ。タムラソウにはトゲがない

→ナデシコ (ナデシコ科)



健生会が「いのち、くらしなんでも相談所」を設置

電話は 0120-930-246(月～金・17 時迄)お気軽にお電話を

雑誌「いつでも元気」をご購読の皆さんへ

「いつでも元気」誌 30 周年記念パンフが贈呈されます。皆様の健康づくりに役立ててください。なお「いつでも元気」をまだお読みでない方は是非この際にご購読ください。「いのち大切」をモットーにくらしと健康に役立つ情報誌です。様々な取り組みや運動のニュースも載せています(月刊・月 380 円)。この記念パンフは希望すれば追加注文が可能です(無料)。